

新収蔵初公開

知られざる巨匠 マルケがみたセーヌ川



uehara collection

上原コレクション名品選 2

2020年 1月18日(土) — 4月12日(日)

会期中無休

開館時間 | 午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料

* 仏教館・近代館の共通券です

* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい



上原美術館

Uehara Museum of Art

アルベール・マルケ《ルーアンのセーヌ川》(部分) 1912年

上原コレクション名品選 2



1 アルベール・マルケ《ルーアンのセヌ川》1912年 2 アルベール・マルケ《冬のパリ、ポン・ヌフ》1947年頃 3 クロード・モネ《ジヴェルニー付近のセヌ川》1894年 4 アルフレッド・シスレー《秋風景》1880年

近代館

個人コレクター上原昭二のまなざしによって集められた上原コレクション。そこには、当館コレクション特有の優しく穏やかな気配が満ちています。上原コレクション名品選では、収蔵品を掘り下げながらご紹介し、その魅力に迫ります。

名品選の第2弾は、2019年度に新収蔵となったマルケ《ルーアンのセヌ川》です。曇りの日ににぶく輝くセヌ川の流れる、詩情豊かにとらえられています。人々が行き交う橋や、停泊する船、河岸の賑わいがマルケの「灰色」と呼ばれる落ち着いた色彩で描かれています。人々の生活が息づく市街と、絶えずそこを流れるセヌ川にマルケは終生惹きつけられていました。その画面の色彩は、ほとんどモノトーンのようにありながらも、多彩なニュアンスを感じさせます。

アルベール・マルケは1875年ボルドーに生まれ、パリに出てからは、セヌ川が流れる市街の風景を数多く手がけました。パリ以外でもセヌ河畔の町ルーアンやヴィレヌヌなどで、川辺の情景を制作しています。またセヌ川は19世紀以降、モネやルノワールら印象派の画家たちをはじめ、たびたび風景画に取り上げられてきました。近代館ではマルケのほか、印象派や、ボナール、ドランが描いたセヌ川と、画家たちが暮らしたパリ市街の風景を中心に、上原コレクションの数々をご紹介します。



仏教館

祈りを込め一字ずつ書写する写経は、仏教の教えを記したものであると同時に、写経自体にきらびやかな装飾が施されるなど、仏教美術を語る上で欠かせない存在です。仏教館では千年以上経てもなお輝きを失わない《紫紙金字華嚴経断簡》や、巻頭に描かれた仏画も見どころの《紺紙金字金剛三昧経巻上(神護寺経)》、初公開となる室町時代に書写された静岡県ゆかりの写経《遺教経》など、当館所蔵の写経の数々を一堂に展示します。あわせて、《十一面観世音菩薩立像》などの仏像を展示し、經典にあらわされた仏教の世界観をご紹介します。

1《紺紙金字金剛三昧経巻上(神護寺経)》平安時代(12世紀) 2《紫紙金字華嚴経断簡》奈良時代(8世紀) 3《十一面観世音菩薩立像》平安時代(10世紀) 重要美術品

仏教館・近代館 関連イベント

ミニ講座

演題 マルケとその友人たち 講師 齊藤陽介(当館学芸員)
日時 2020年2月22日(土) 13:30~15:00

演題 古写経の魅力 講師 菅野龍磨(当館学芸員)
日時 2020年3月7日(土) 13:30~15:00

会場 上原美術館 会議室 定員 40名 ※先着順、要予約・要入館券 参加方法 ①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④参加人数(2名様まで) ⑤参加希望の講座名を明記の上、郵便はがき、もしくはEメール(info@uehara-museum.or.jp)にてお申込みください

学芸員による作品解説

日時 毎月第3土曜日 11:00~14:00~
仏教館・近代館 約30分ずつ 会場 上原美術館展示室
参加方法 当日、仏教館にお集まりください ※要入館券



- お車で 東名高速道路 沼津ICより 下田方面へ 1時間40分
- 鉄道・バスで 東京駅より特急踊り子号 2時間40分 伊豆急下田駅下車 同駅より堂ヶ島方面行バス 20分 相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341
Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp